

AVニュース エクスプレス

2002年(第49回)教育映像祭中央大会 「夏休みは映画を見ようキャンペーン」に参加
「2002年教育映像祭優秀映像教材選奨」入選作品
「教育の情報化推進セミナー2002」開催
「学校支援ボランティア・サミット」(千葉県木更津市)開催

協会情報

2002年(第49回)教育映像祭中央大会 「夏休みは映画を見ようキャンペーン」に参加

(財)日本視聴覚教育協会が毎年開催している教育映像祭中央大会は、今年度は視聴覚教育功労者・優秀映像教材選奨入賞者の表彰式は東京・千代田区霞ヶ関ビルの東海大学校友会館で行い、文部科学省分館虎ノ門ホールでは終日映画の上映となる。

なお、今年は「夏休みは映画を見ようキャンペーン」(発起人・河合隼雄文化庁長官、高野悦子東京国立近代フィルムセンター名誉会長他)に参加し、夏休み子ども映画フェア・入賞作品上映に加え、ディズニー映画も上映する。

<開催期日>

平成14年8月23日(金)

<日程および会場>

「視聴覚教育功労者表彰」および「優秀映像教材選奨入選作品表彰」14:00より東京霞ヶ関・東海大学校友会館にて=主催者挨拶/文部科学大臣表彰/日本視聴覚教育協会会長表彰/文部科学大臣挨拶/謝辞(受賞者代表)

「夏休み子ども映画フェア」10:30~12:30東京霞ヶ関・虎ノ門ホールにて=上映作品「そばの花さいた日」学習研究社、「源吉じいさんと子ぎつね」東映、「いのちのあさがお」東映、「未来は僕らの手に」桜映画社

*詳細は巻末84頁を参照

「ディズニー映画フェア」13:00~14:00上映作品「ミッキーマウスと魔法の帽子」「くまのプーさん イーヨのおたんじょう日」「プカドン交響楽」「砂

漠は生きている」

「優秀映像教材選奨 - 入賞作品上映会」14:10~16:10上映作品「身障犬ギブのおくりもの」「カワウソ親子の冒険」「とも子ちゃんとわたし」「石州半紙」

<参加方法>

中央大会参加希望者は、往復はがき(1人1枚)に、住所・氏名・所属を明記のうえ、8月15日(木)までに、〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル 日本視聴覚教育協会宛、申し込むこと。

「2002年教育映像祭優秀映像教材選奨」入選作品

本年度の標記選奨は、14社25作品の教育映画、31社155作品の教育ビデオ、9社25作品のコンピュータソフトウェア(CD-ROM)の参加作品を対象に審査が行われ、次のように入選作品が決まった。

A. 映画の部

最優秀作品賞(文部科学大臣賞)3作品

学校教育部門小学校向(道徳)「やくそく」20分、東映

児童劇・動画部門(動画)「こころの交響楽(シンフォニー)」43分、東映

教養部門「石州半紙」34分、日経映像

社会教育部門は該当作品なし。

優秀作品賞 14作品

〔学校教育部門〕

小学校向(国語)「三年とうげ」13分、教配

小学校向(道徳)「いのりの手」18分、学習研究社

小学校向(道徳)「みつけた!」18分、アクシス

小学校向(特別活動)「おじいさんの笑顔」19分、東映

〔社会教育部門〕

「親と子の対話 - 思春期の子どもと向き合うために - 」29分、東映

「ギフチョウと生きる郷」23分、矢島仁

「鞍馬天狗のお年寄りの交通安全」30分、東映

「おはようの音が響く街に!」35分、共和教育映画社

「お助けマン参上 - セカンドライフの生きがい探し - 」30分、東映

〔児童劇・動画部門〕

児童劇「身障犬ギブのおくりもの」39分、東映

動画「とも子ちゃんとわたし」20分、学習研究社

動画「カワウソ親子の冒険」19分、北星

〔教養部門〕

「神々のふるさと出雲神楽」41分、英映画社

「石を積む - 石垣と日本人 - 」53分、文化工房

B. ビデオの部

最優秀作品賞(文部科学大臣賞)5作品

学校教育部門小学校向(社会)「よみがえった北九州の空・海」15分、内田洋行

学校教育部門中学校向(国語)「『話す・聞く』指導ビデオ 2年」26分、光村教育図書

学校教育部門高等学校向(農業)「土から調べる - 森林土に学ぶ土の役割 - 」27分、農山漁村文化協会

社会教育部門市民生活向「痴呆介護の新たな試み グループホームで創る生活」40分、東京シネ・ビデオ

教養部門「野尻抱影 星の文人」48分、紀伊國屋書店

社会教育部門家庭生活向および職能教育部門は該当作品なし。

優秀作品賞 25作品

〔学校教育部門〕

小学校向(社会)「雪の多い新潟県・寒い北海道の暮らし」17分、学習研究社

小学校向(図画工作)「考えながら感じながら - 高学年の造形遊び - 」21分、東映

小学校向(特別活動)「チャレンジ! ボランティア」20分、リュック

小学校向(総合的な学習の時間)「調べてみようみんなの住む町 - 見学やインタビュー - 」12分、東映

中学校向(社会)「マレーシア」39分、東京書籍

中学校向(理科)「生物の子孫の残し方」24分、東京書籍

中学校向(美術)「不思議あそび - 不思議の世界をつくりだそう - 」22分、桜映画社

高等学校向(国語)「相手を理解する - 言葉の背景を見つめると... - 」37分、東京シネ・

ビデオ

高等学校向(芸術)「墨・硯」18分、NHKソフトウェア

高等学校向(特別活動)「だまされないで! 悪質商法 - NOと言わなきゃダメだニャー - 」25分、東映

高等学校向(特別活動)「かけっこ - いのちの教育こころの教育 - 」24分、毎日EVRシステム

高等学校向(総合的な学習の時間)「出会い - 在日コリアン三世と日本の若者たち - 」30分、桜映画社

〔社会教育部門〕

「大丈夫? あなたの食卓 - 輸入食品を追跡する - 」27分、農山漁村文化協会

「ドメスティック・バイオレンス - DV防止法のもとでの支援 - 」38分、桜映画社

「これで安心! インターネットを楽しむために」20分、毎日EVRシステム

「日本に暮らす新来外国人(ニューカマー)」25分、東映

「生きるよるこび いのちのボランティア」30分、桜映画社

「地域でささえる子育て - ファミリー・サポート・センターの活動 - 」25分、桜映画社

〔職能教育部門〕

「JA新時代の営農事業とは」30分、農山漁村文化協会

「過信が落とし穴 - 高齢化時代の安全対策 - 」19分、日本シネセル

「竹と出会う - 日本の竹工芸 - 」27分、毎日映画社

「迷路ごっこだよ - 伝わる喜びから伝えあう楽しさへ - 」21分、岩波映像

「心とからだを開く看護音楽療法 - パーキンソン病を生きる人びとと - 」26分、東京シネ・ビデオ

〔教養部門〕

「岡野薫子の作品世界 - 文と絵と - 」36分、桜映画社

「屋久島 - 多様性の森を探る - 」31分、日本シネセル

C・コンピュータソフトウェア(CD-ROM)の部

最優秀作品賞(文部科学大臣賞)1作品

学校教育部門中学校・高等学校向(中学校外国語)「NEW HORIZONデジタル掛図1年」Windows98.Me.NT.2000.XP、東京書籍

学校教育部門小学校向および一般教養部門は、該当作品なし。優秀作品賞 8作品

〔学校教育部門〕

小学校向(理科)「小学校 地球と宇宙」Windows98.NT.2000.XP、創育

小学校向(図画工作)「EVA アニメータ・スクール」Windows95.98.SE.Me.NT.2000.XP、日本文教出版

小学校向(総合的な学習の時間)「かいけつ表グラフ」Windows95.98.Me.NT.2000.XP、ジャストシステム

中学校・高等学校向(社会)「中学校 世界地理」Windows98.NT.2000.XP、創育

中学校・高等学校向(家庭)「ヘルシーチェック Ver.4.0」Windows95.98.Me.NT.2000.XP、日立デバイスエンジニアリング〔一般教養部門〕

「ピピルといっしょ たんごでスタート」Windows98.Me.NT.2000.XP、創育

「ピピルといっしょアニメ&クリックゲーム」Windows98.Me.NT.2000.XP、創育

「Native World はじめての英会話」Windows95.98.Me.NT.2000.XP、ラーニングウェア

研究会情報

「教育の情報化推進セミナー 2002」開催

(財)日本視聴覚教材センターでは、新たなインターネットの教育への活用方法をさらに充実させ、教育の情報化に積極的に取り組む先生方を支援するため、昨年度に引き続き標記セミナーを開催する。

<開催日時>

平成14年8月29日(木)
10:00~17:00

<会場>

神奈川県私学会館 神奈川県横浜市神奈川区高島台7-5(JR横浜駅徒歩13分)

<基調講演>

演題:「教育の情報化に期待する」/講師:桑原 靖(文部科学省生涯学習政策局学習情報政策課長)

<事例発表>

「カリタス女子中学高等学校における情報環境の整備とその活用」/山崎吉朗(カリタス女子中学高等学校教諭)

「日経STOKリーグに参加して」/高橋正人(浦和商業高等学校教諭)

「教育の情報化と情報モラル」/高橋邦夫(千葉学芸高等学校校長)

「生徒会が主体的に運営するホームページの企画と運営」/田村祐一(海城高等学校教諭)

「小学校におけるITの活用」/佐藤圓(宝仙小学校教諭)

<募集人数>
先着150名(対象:国・公・私立の小・中・高等学校関係者)

<参加費>
3,500円(昼食代・資料費等込み)

<申し込み方法>

(財)日本視聴覚教材センター

より「参加申込書」を入手し、必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXにて申し込む。

<申し込み締切日>

平成14年8月15日(月)

*募集人員を超えた場合は、その時点で締め切りとなる。

<問い合わせ先>

(財)日本視聴覚教材センター105-0001東京都港区虎ノ門1-17-1 TEL03-5251-5907 FAX03-5251-5908

各地の情報

「学校支援ボランティア・サミット」(千葉県木更津市)開催

「開かれた学校づくりの推進に向け、さまざまな立場から学校支援ボランティア活動を見つめ、地域社会と学校との連携の在り方を探る」ことを趣旨とし、標記サミットが開催される。

<開催日時>

平成14年8月18日(日)
10:00~15:40

<会場>

千葉県木更津市・かずさアカデミアホール202号会議室 千葉県木更津市矢那1637

<参加者>

全国の学校支援ボランティア、教育関係者、一般市民等

<参加予定数>

300名

<参加費>

1,000円(資料代等を含む)

<参加申し込み方法>

木更津市教育委員会学校教育課より参加申込書を入手し、必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXにて申し込む。

<問い合わせ先>

木更津市教育委員会学校教育課

〒292-8501 木更津市潮見1-1 TEL0438-23-7111 内594 FAX0438-25-3991 担当:竹内